

国立病院機構 小倉医療センターだより 2023年7月号

— 診療科よりお知らせ —

小児科 小児専門外来へのご紹介は、小児科・予約担当まで(14:30まで)事前連絡を
お願いします

- *循環器外来 … 水曜日・金曜日 担当医:大野拓郎・中島康貴
- *アレルギー外来 … 火曜日・金曜日 担当医:河原隆浩
- *小児神経外来 … 木曜日 担当医:緒方怜奈



眼科 火曜日・木曜日は手術日のため、10:00で受付は終了いたします

※緊急手術や外来患者多数の場合、受付の締め切り時間を早める場合がございます

精神科 もの忘れ外来 <<完全予約制>> ※ご予約は、精神科外来(14:30まで)にご連絡下さい

血液内科 診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります

— 外来医師不在のお知らせ —

(6月26日 現在)

小児科 中嶋 敏紀 ……7/18(火)

— 医療従事者研修について—

開催日	内 容 ・ 講 師
7月27日(木) 時間 19:00~	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

— 健康教室について—

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません

<診療案内>

- 受付時間
午前8:30~午前11:00
- 救急受付
救急患者につきましては
お電話でお問い合わせください。
- 診療時間
午前8:30~午後5:15
- 休診日
土・日・祝日・年末年始

<地域医療連携室をご利用ください>

- 電話・FAXによる紹介患者様の受診予約・事前受付
- 羊水検査・NIPT・MRI・CT等検査予約
- 転院に関するご相談・紹介・お問い合わせ
- 診療に関するお問い合わせ
- セカンドオピニオン外来
- 家族性腫瘍カウンセリング予約等
- がん相談に関すること



国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1
【診療科】 糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、
整形外科、外科一般・消化器外科、乳腺外科、小児外科、小児科、産婦人科、
皮膚科、眼科、精神科、放射線科、臨床検査科、麻酔科

◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい
(病院代表) FAX 093-522-5072 TEL 093-921-8881
(地域医療連携室) FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用TEL)





独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和5年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般(新患) 【内線 208】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕 山下 晋作	山下 晋作 國吉 政美	山下 晋作 國吉 政美	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高月 浩	武藤 敏孝	高月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場 ゆか 岡田 淳子 林 加野	原 奈那 岩川 歩奈実 阿部 隼希	的場 ゆか 岩川 歩奈実 林 加野	的場 ゆか 岡田 淳子 阿部 隼希	原 奈那 岡田 淳子 阿部 隼希	
呼吸器内科 【内線 208】	休診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談(急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河邊 顕	村尾 寛之 深浦 啓太	河邊 顕 深浦 啓太	村尾 寛之 深浦 啓太	河邊 顕 村尾 寛之	痔疾患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	山崎 徹 松田 諒太	近沢 信人	木村 英世	田邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	山崎 徹	山崎 徹 轟木 秀一 松田 諒太	◇山崎 徹	轟木 秀一	轟木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	清水 敦 深川 真吾 徳 永 修	[手術日]	清水 敦 深川 真吾 笹栗 慎太郎	[手術日]	清水 敦 深川 真吾 徳 永 修 笹栗 慎太郎	※手術日の急患・紹介に関しては事前にご連絡をお願いします。
小児科(午前) 【内線 209】	安永 由紀恵 河原 隆浩 ◇口牧村 美佳 中嶋 敏紀	△河原 隆浩 安永 由紀恵 春日 井 悠 ☆渡辺 恭子 中嶋 敏紀 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 中尾 泰介 河原 隆浩 ◎大野 拓郎 ☆九大より派遣(第2・4週) ☆安永 由紀恵	河原 典子 牧村 美佳 ☆緒方 怜奈(初診)	◎大野 拓郎 河原 典子 牧村 美佳 ◎中島 康貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来(予約制) △アレルギー外来(予約制) ☆神経外来(予約制) ◇内分外来(予約制) □新生児外来(予約制) ※初診のみ 専門外来新患は要電話予約 (9:00-14:30電話受付) 詳しくは病院ホームページ
小児科(午後) 【内線 209】	中嶋 敏紀 ※◎中島 康貴	中嶋 敏紀 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ※△河原 隆浩	◇牧村 美佳 湯浅 千春 ◎大野 拓郎 倉田 浩昭 ☆九大より派遣(第2・4週)	市山 正子 香月 比加留 ☆緒方 怜奈	△河原 隆浩 湯浅 千春 ◎中島 康貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	[手術日] (急患のみ可)	生野 猛 *生野久美子 橋本 佳子	[手術日] (急患のみ可)	◎生野 猛 生野 久美子 *橋本 佳子	*生野 猛 生野 久美子 橋本 佳子	◎小児泌尿器外来 *印 新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	清水 佳祐 河村 京子 *川上 浩介 牛島 崇 大藏 尚文 北川 麻里江 清水 隆宏	宮原 英之 *川越 秀洋 徳田 諭道 牟田 満 藤川 梨恵 石橋 弘樹 [手術日]	藤川 梨恵 *川越 秀洋 川上 浩介 河村 京子 大藏 尚文 小野 結美佳 宮原 英之	熊谷 晴介 *川越 秀洋 近藤 恵美 牟田 満 大藏 尚文 石橋 弘樹 北川 麻里江	*徳田 諭道 *河村 京子 川上 浩介 伊波 勇裕 小野 結美佳 清水 隆宏 [手術日]	*印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	[休診]	[休診]	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土井 和子 杉 悠太	土井 和子 杉 悠太	土井 和子 杉 悠太	土井 和子 杉 悠太	土井 和子 杉 悠太	
眼科 【内線 212】	能美 典正 下川 翔太郎 村上 裕一	下川 翔太郎 村上 裕一 高木(第1週) [手術日]	宮城 美智子 下川 翔太郎 村上 裕一	能美 典正 下川(奇数週) 村上(偶数週) [手術日]	能美 典正 下川 翔太郎 村上 裕一	火・木は 10:00で受付終了
精神科	今村 真帆 今村 汐里 佐藤 康人 *磯村 周一	今村 真帆 角田 芳奈 *権藤 知子	磯村 周一 今村 真帆 権藤 知子 *角田 芳奈	磯村 周一 今村 真帆 権藤 知子 今村 汐里	磯村 周一 今村 真帆 権藤 知子 樋口 潤 *今村 汐里	*印 新患担当 新患は要電話予約 (9:00~14:30電話受付)
放射線科 【内線 231】	野見山 弘行	野見山 弘行 久野修(午後)	野見山 弘行	野見山 弘行	野見山 弘行 高木 正統(午前)	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村尾 寛之 深浦 啓太	河邊 顕 國吉 政美 山下 晋作	村尾 寛之	河邊 顕	深浦 啓太	

注)：受付時間：午前8：30～11：00(急患については、この限りではありません)

注)：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注)：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注)：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

TEL093-921-8881/FAX093-921-8892(地域医療連携室)

診療科紹介

精神科

当科の入院部門は閉鎖ゾーン26床(うち保護室3床)、開放ゾーン24床(うち有料個室2床、観察室2床)を擁し、医師7名(うち精神保健指定医2名)病棟看護師22名で運営しています。総合病院の特色を活かし、精神疾患と身体疾患の合併例や、電気けいれん療法を必要とする重篤なケースを積極的に受け入れています。加えて、精神科作業療法や身体リハビリ、NSTチームなど多職種連携が盛んなことから、幅広いケースへの対応が可能です。今年度は新任の医師4名、看護師8名(師長を含む)を迎え、新鮮な気持ちでチーム医療を実践しています。外来部門はもの忘れ外来、一般外来に分かれており、完全予約制となっています。MRI、脳血流シンチ、ダットスキャン、脳波等の各種検査が迅速に行える点が特徴です。今後も皆様との連携を大切にして、地域の役に立てるよう努めて参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

病棟併設の作業療法室



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

認定看護師・専門看護師・診療看護師のご紹介

感染管理認定看護師

元田 裕子

感染管理認定看護師資格を平成21年に取得し、14年が経過しました。

当初は手術室副看護師長と兼任でしたが、平成24年度の診療報酬改定に伴い感染防止対策加算が新たに設けられ、専従として活動することとなりました。活動範囲は院内だけではなく他施設との連携や相談を受ける機会も増えました。

令和2年から新型コロナウイルス感染症が流行し、当初は患者対応、保健所からの問い合わせ対応、個人防護具の在庫確認と節約方法の検討、院内の感染対策の整備等、目まぐるしく日々が過ぎていきました。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は感染症法の5類へ移行しました。世の中は感染対策を緩和していますが、院内感染を起こさないように感染対策の維持する点、緩和する点を整備しながら活動しています。加算の連携や、職員教育などのご相談がございましたらご連絡ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師

村田 美智恵

褥瘡や慢性的な創傷など創傷管理や、ストーマ管理、失禁等の排泄ケアと皮膚ケアに携わっています。高齢者や皮膚の弱い患者さんが皮膚トラブルを生じないよう、予防のためのスキンケア方法や、ストーマ造設後の装具選択やケア方法、失禁時のケアなどアドバイスやサポートを行っています。

皮膚のトラブルや排泄に関わる問題は、患者さんにとって身体的な苦痛だけでなく精神的な苦痛も伴うため、生活の質の低下につながることがあります。時には、他人には相談しにくいデリケートな内容でもあり、専門な視点で問題を捉え、患者さんそれぞれにあったケアを実践することが大切です。私たちは、患者さんを中心に医師や看護師、栄養士、薬剤師、リハビリ療法士など多職種で協働しながらチームでケア方法を実践し、患者さんの苦痛が一つでも改善されたときには、喜びとともにやりがいを感じています。

褥瘡やストーマケアを在宅で支援している医療者の方へ、お困りなことがありましたらいつでもご相談ください。

緩和ケア認定看護師

倉本 麻美

緩和ケア認定看護師として、がんをはじめとした疾患をもつ患者さんとそのご家族の心身のつらさが緩和でき、生活の質の維持、向上ができるように取り組んでいます。患者さんの思いを聴き、生活する中で大切にされていること、どのように過ごしたいかを話し合いながら“その人らしく”望む生活ができることを目標に活動しています。

つらい症状の緩和については、緩和ケアチームで介入し、多職種のそれぞれの専門的立場からの意見を統合してよりよい方法を話し合い提案しています。

外来では、がんの告知時に同席し、「診断時からの緩和ケア」が実践できるよう、告知後の精神的サポート、仕事や子育て、介護などの社会的問題を事前にキャッチし、必要な部門、院外の在宅医療関係者の方々とも連携して解決し、安心して入院、治療ができるようサポートしています。

また、看護師への緩和ケア、がん看護に関する教育、相談も行っています。地域の医療、福祉関係の方々のご相談にも応じていますので、どうぞお声をかけてください。

精神科認定看護師

松尾 清隆

近年、精神疾患を有する総患者数は、全国で約419.3万人【入院:約30.2万人、外来:約389.1万人】とされています。入院患者数は、過去15年間は減少(約34.5万人→30.2万人)となっていますが、外来患者数は増加傾向(約223.9万人→389.1万人)にあり、様々なメンタルヘルス対策が制定されています。さらに近年の高齢化問題とともに、認知症患者数も増加しています。

私は2018年より精神科認定看護師として精神科リエゾンチーム、認知症ケアチームに携わり、当院の一般病棟に入院して精神的症状を有する患者への支援活動を行っています。週2回のチームによる組織横断的な活動以外にも、認知症予防や不安感などの症状に対する直接的な介入も行っています。

依存症領域で専門的に精神科看護を経験してきましたので、アルコールや喫煙・スマートフォン等の依存に関する問題や精神的症状、認知症・せん妄予防などでもお困りの際には、いつでもご相談ください。

がん看護専門看護師/遺伝性腫瘍コーディネーター

下川 亜矢

がん看護専門看護師は、「がん看護」に特化した教育を受け、高い専門知識、技術を習得しており、患者さんとそのご家族のサポートを行います。現在、主に外来化学療法室に従事しており、抗がん薬投与を受ける方々の治療継続、中止に関わる意思決定支援や、根拠に基づいた有害事象の緩和に努めています。病気や治療に伴う身体的苦痛、精神的苦痛の緩和だけでなく、社会支援や就労支援など、多角的に患者さんの苦痛を一つでも減らすためのアプローチを行っています。

また、私は遺伝性腫瘍コーディネーターの資格を取得しており、遺伝性腫瘍の方やそのご家族へのカウンセリングを提供しています。現在、“がんゲノム医療”は日常診療の中に組み込まれ、それに伴い意図せず遺伝性腫瘍と判明する方もいます。がんという病気だけでなく、遺伝の問題にも向き合わなければならない方々に適切な遺伝医療が提供できるよう支援しています。

小児プライマリー領域の診療看護師

古家 景子

診療看護師(Nurse Practitioner:NP)は、看護系大学院で医学的知識と技能の教育を受けた看護師です。

一定の範囲の診療行為(気管カニューレ交換など)を行い、患者さんやご家族とかかわりながら診療と看護の能力を発揮し、活動しています。

現在は新生児センターに所属し、スタッフと共に入院直後から退院にむけた支援を行っています。医療的ケアを必要とするお子さんに対しては、ご家族の不安を少しでも軽減できるようサポートしています。また、小児看護におけるスタッフへの教育的関わりや後輩育成にも努めています。

お子さんやご家族が安心して笑顔で過ごせるような看護を目指しています。新生児のみならず小児に関するご相談はいつでも何でもお声掛けください。